

共働・共助による事業活動の推進／自主・自立による組織活動への参加

# シルバー

2012・9  
131号

# せたがや



豪徳寺の鐘楼と紅葉

撮影 落合 泰造



過信せず 健康チェック 心がけ  
ハンドルの ニギリはいつも プレーキに  
確認は 急がず焦らず ためらわず

平成24年9月15日発行 編集発行・公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター  
本 部：〒156-0051 世田谷区宮坂1丁目24番6号 宮坂区民センター内 ☎03(3426)9211(代)  
烏山支部：〒157-0063 世田谷区粕谷1丁目7番34号 ☎03(5316)1371

ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/setagaya/>

# 平成24年度 定時総会開催

平成23年度 事業報告・会計決算  
平成24年度 事業計画・会計予算



## 地域に根ざした奉仕の精神を培おう

6月14日(休)午後1時半から区民会館ホールにおいて、高品理事の司会で世田谷区シルバー人材センターの定時総会が開催されました。冒頭に竹内会長から「昨年の3・11以来急速な円高の進行、ヨーロッパ諸国の財政危機の影響もあり、景気は低迷状態を続けている。シルバー人材センターも全国的に事業仕分けなどの影響を受け、厳しい事業運営を余儀なくされたが、当センターは、この3月末には会員数が3千人となり、総じて全ての数字が右肩上がりに推移した」と喜ばしい挨拶がありました。また、シルバー人材センターの基本理念を尊重した「会員憲章」の策定が報告されました。

次に、保坂区長のメッセージを区・工業雇用促進課長・大石智康氏が代読。ご来賓の方々を代表して、世田谷区選出の都議会議員、中嶋義雄氏が挨拶され、「日本は世界一の長寿国となったが、元気で生き甲斐をもって暮らせる環境造りに、シルバー人材センターの存在が極めて大きい」と述べられました。

議長に田村進氏が選出され、松南理事から会員総

数2,910名、出席会員626名、委任状1,623名合計2,249名で定足数に達していることが報告されました。

衣笠副会長より「平成23年度事業報告」があり「契約額は2.7%増の12億8,049万円、配分金は初めて10億円を超え、契約件数は7.9%増の20,035件、就業率は過去最高の79.6%と、2年連続の上昇となった」と報告されました。前橋理事から「24年度事業計画」が、常務理事が予算を説明されました。

そのほか、「平成23年度決算」「監査報告」があり、「定款の変更」「役員報酬等に関する規程の改正」「理事の選任」が審議され、質疑応答のあと原案どおり承認されました。また、会員・役員等の表彰、安全標語入選者の発表、新理事「橋本誠」氏の紹介があり、衣笠副会長の閉会の挨拶で終了しました。

## 交通安全講習会

警視庁北沢署交通課の協力を得て、総会開始前に、同会場で交通安全講習会が開催されました。舞台上にセットされたシミュレーション装置で、走行する車と横断する人の位置関係等がリアルに示され、交通ルール遵守の大切さを再認識させられました。

高齢者の3大事故原因は、  
①走行する車の直前・直後の横断  
②横断歩道以外の横断  
③信号無視（歩行・運転時）です。



総会参加者に配布された安全ヘルメット ▲



長年、元気で活動してこられた皆様

## おめでとうございます

—表彰者氏名—



吉田正男氏

会 員		役 員	
【世田谷地区】	三ツ木 昇 池田 八郎 西村 安子	伊藤 好雄 杉山 豊 倉田 幸一	田部井 実 依田 郁男 樋口 正明
【北沢地区】	帆足 益三 内藤 啓司 吉田 正男	岩田 正一 大口 義男	鈴木 哲夫 梅田とよ子
【玉川地区】	青木 建一 荒井 圭介 森岡 昭夫	奥野喜久雄 齋藤日路美 新元 榮	榊原 末雄 森田 智雄
【砧地区】	高橋ヨリ子 佐々木徳之助 大屋 隆男 小牧 昭夫	飯島 達雄 津村美智子 斉藤 謙治	汾陽 光徳 小泉 力二 橋本 巖
【烏山地区】	本橋 幹也 永田 満 奥谷 英雄	井草 幸雄 加治木春枝	森田 陽子 長谷川浩治
			田中 輝夫 吉村 友亮 佐藤 敏雄 百瀬 郁夫 守屋 桂二
			田中 双葉 岡崎 一雄 野水 善七 岡村 三男 望月 正一
			生田 正守 青木 宏吉
			小川 尹 戸ヶ崎ヨシイ 小沢 元子 中村 久子 八木千恵子
			安藤 末蔵 飯田 昇一
			萩生田八州男 太田 照子 高村セツ子
			手代木一洋 宮崎 謙三 落合 廣
			池亀 頼良 藤原壽美雄 鳴島 明

## 本年度の3大課題をテーマに討論

6月29日、宮坂本部で全理事・監事の14名が出席し、「役員研修会」を開催しました。

以下の3点を研修テーマとして、5月下旬に役員・職員から提案募集を行い、集まった17人・23点の提案をもとに討論を実施しました。

11時開始～16時終了。

- ①就業の拡大・就業開拓
- ②仕事別グループの組織化
- ③地域組織の活性化と区民の信頼確保

### ●当センターの目指す新しい方向とは？

竹内会長から、全シ協（全国シルバー人材センター事業協会）総会での塚本成美 城西大学教授の講演が紹介されました。「センター事業の理念の再検討」と題した講演で「全シ協がめざす今後のシルバーのあり方は、まさに当センターの『生きがい就業の実現』と軌を一にする」と報告がありました。

講演の趣旨は、「社会が変容し、ニーズの個別化・多様化が進み、中央政府の一元的対応では無理になった。地域社会が『自分たちで行動し、みんなで幸福になる』という時代となった。公益団体であるシルバーは、地域の社会の人々のために活動する姿になっていく。各地域に拠点があるシルバーの組織は、地域のコミュニティー再生のための強みでもある。

生活就労が保障されて、生きがい就業に繋がると考えられる。生きがい就業とは、社会参加にこそあるので、官民協働ネットワークづくりのために、シルバー事業をアピールし、就業組織というより運動組織として活動を鮮明にすべきだ」というもの。

その後、溝口常務理事から、研修の進め方や資料説明があり、午後から課題討議が始まりました。



### ●討議結果を今後の活動充実につなげよう

第1テーマ「就業の拡大・就業開拓」では、理事の発注者訪問の意義や時期、就業開拓専門員の活動や方法論、高齢者向け就業開拓について、事務局職員との連携の在り方等を含め討議しました。

第2テーマ「仕事別グループの組織化」では、仕事別グループの組織化の必要性、既存の仕事別グループの洗い直しと再組織化、リーダーへのインセンティブ付与等について議論しました。

第3テーマ「地域組織の活性化と区民の信頼確保」では、社会奉仕活動の進め方、地域組織の活動支援、地区行事等への参加等を討議しました。

いずれも時間の制約があって、結論のとりまとめまで到達できませんでした。しかし、①今秋の理事による発注者訪問における効果的な訪問（時期の変更等）、就業開拓専門員活動における工夫・改善 ②仕事別グループの組織化・活性化に向けた具体的活動の実践（連絡会議等） ③地域組織への支援の充実、地域組織の活性化への積極的関与等を再確認し、熱気ある研修は終了しました。



### 表紙説明：豪徳寺の紅葉と鐘楼（左写真）

紅葉の名所として知られる豪徳寺は、1633年に彦根藩2代藩主 井伊直孝がこの一帯を拝領以来、井伊家の菩提寺となった。それ以前の寺は弘徳院という名の貧乏寺であったが、住職の愛猫が門前で手招きして呼び入れた武士の一行（直孝公）が、激しい雷雨を免れられたことを謝して、菩提寺にしたという、「招き猫」の伝説が伝えられている。愛らしい招き猫が、季節を問わず、訪れる人を招き入れている。

山門から入ると右手に見える鐘楼の梵鐘は、1679年に製造された由緒ある鐘で、区内で一番古いといわれ、区指定有形文化財とされている。

7月18日に三茶しゃれなード（47名）、19日に烏山区民センター（19名）で、今年度から導入された「入会2年次会員研修（平成23年1～6月入会者対象）」が行われました。

就業を体験し組織にも慣れてきたところで、仕事のルールの理解や目指す方向を把握して、仕事に活かしてもらおうとする主旨で実施されました。

## ●会長の挨拶・「働く喜び・マナー」の講演

「少子高齢化が進み共助が求められる今後の社会では、健康な高齢者の集まりである当センター会員が、積極的に社会に貢献し、信頼される存在になるべきである。そのため、働く喜びと共に就業のマナーが大切」という会長の挨拶から始まりました。

常務からは、センターのしくみや就業システム、会員数や事業実績の推移等の報告がされました。



▲ 松南理事

続いて、衣笠副会長と松南理事から、本人の体験に基づく就業で得た働く喜びや、「発注者や区民に接するときのマナーが人間関係や信頼を築くため大切であり、センター会員として日々実践してほしい」とのエールが新会員へ送られました。

## ●グループ代表による討議の結果報告

「公園清掃や駐輪場等は、数人でローテーションを組んで就業するが、マンション清掃等では1人就業となる。ローテーションで就業している人は就業日の融通がきくが、1人就業では交替要員がいない、緊急時の対応ができない」等の不安の声がありました。

「希望の職種でなかったが、やってみると生きがいを感じるようになった」という人もいました。

事務局職員や仕事仲間、発注者、お客様とのコミ



▲ 三茶しゃれなード

▼ 烏山区民センター



ュニケーションがうまく取れている、または信頼関係ができている場合ほど、仕事への満足感や働く喜びを実感しているケースが多くみられます。事務局の対応が十分でない、就業現場に来て実態を見てほしい等の声も出されました。

区民センター等の就業で、マニュアルがないので先輩の引き継ぎが難しいという声も聞かれました。

## ●研修終了後のアンケート結果

マナーに関してアンケート結果で多かった回答は

- ・会員の行動一つで、多くの会員が仕事を失うことがある（46%）
  - ・マナーの基本は区民の信頼を築く（36.5%）
- グループ討議についての良かった点として、
- ・様々な就業職種の意見交換ができた（26%）
  - ・就業に至る経過や仕組みなどわかった（17%）
- 等が目立ちました。（地域組織・会員部会）



### 適正就業ってなに？

### ワークシェアリングとは？

ワークシェアリングとは、「仕事を分かちあう」ことで、シルバーの就業の特徴といえます。

シルバー人材センターにおける適正就業は、定款で「臨時的かつ短期的な就業、またはその他の軽易な業務に係わる就業」と定められ、国の指導で「月に10日程度以内、または週20時間以内」としています。

現役時代の稼働労働と違い「生きがい就業」が基本とされ、仕事の分かち合いが必要です。

この3年間の当センターの受注実績7%増に対し、会員増は17%になりました。そのため、多くの会員に、その能力と希望に応じて公平な就業機会を提供するためには、どうしても、ワークシェアリングが必要となってきます。

これまで週3回だった就業日がそのため2日になったとしても、お互い様の気持ちを持って、どうかご理解とご協力をお願いします。

7月24日、宮坂本部の会議室で「組長研修会」が開催されました。

常務理事から現況報告があり、「23年度末の会員数は3千人、契約額は2.7%増となりましたが、24年度は6月まで前年を下回っています。また、会員数増により就業拡大が必要とされているため「会員一人1件受注運動」を進めたい。就業時にシルバーの事業PRチラシを配布する等、会員に無理のない範囲での協力をお願いしたい」と説明がありました。

### ◆シルバーは地域と社会を繋ぐ中心となれ

会長より、標題のテーマについて講話がありました。

「我が国の人口は減り続け40年後には9千万人となり、75歳以上も4人に1人の超少子高齢社会となる。家族による支え合いが期待できない生活者が増加し、地域社会の共助活動の重要性が高まってくる。

元気な高齢者であるセンター会員には、高齢社会を支える重要な担い手として活躍が期待されている。地域における社会貢献についても、組長・班長が協力合って検討し、取り組みを進めてほしい」と強調。

### ◆各グループ討議の結果発表

会長の講演後、菅野安全委員会委員長から就業中の事故件数が増えていることに関連して、「各人の日頃からの自己管理が大切」との注意喚起がありました。

その後、3つのグループに分かれ、組長によるグループ討議と、その結果発表がありました。

国分秀高(太子堂組)氏グループ 三軒茶屋の町内会の「ごみ拾いボランティア」に組の3人で参加した。うまく続けていければ、他の会員も巻き込んで行きたい。



佐藤良男(船橋組)氏グループ 町内会との結びつきは大事だが、いきなりシルバー会員がそこへ入り込むことは難しい。自分は「まちづくり推進協議会」の委員をしているので、地域で何が必要とされているかを探り、どのように関わっていくか、段階的に一つずつ実績をあげていくしかない、と考えている。

秋元利夫(等々力組)氏 公益法人へ移行したが会員の末端まで組織変革が認識されていない。まず班長会から動き出して会員へ広げて行くしかないだろう。私の組では、毎月1回班長会として老人ホームへのボランティア活動を計画している。ボランティア活動は、定期的に継続していかなければ意味がない。継続できそうな企画を立て、地道に続けて地域に認められ、他の会員をその気にならせるような時間的余裕が持てれば、今後の奉仕活動も展開ができると思う。

溝口常務の講評：どこの組も、地域との係わりを作るのに苦労されているのが良くわかった。今後、担当の部会や理事会で地域との係わりについて議論を重ね、社会奉仕活動の進め方等についても理事を中心に支援していきたい。(地域組織・会員部会)

## 第5回せたがやふるさと区民まつり 8月4日・5日開催

当センターは、会長以下、役員・事務局職員が2日間交替でテントに陣取り、汗を拭き拭き竹製団扇とチラシを配布し、区民の方と交流方々、PR活動に努めました。

何歳から入会できるのか、家庭教師を頼めないか等の質問もあり、当センターの愛らしいイラストのPRポスターも好評でした。

猛暑の中、2日間の来場者は325,400人。午前11時～午後9時まで、小さいお子さんからお年寄りまで楽しめる、馬の試乗会、さまざま演芸会やショー、世田谷産野菜メニューの試食会等のイベントが目白押し。5日午後には、けやき広場から、まとい・山車・太鼓に続き、子供神輿を含む10台もの神輿が繰り出し、熱気と共に、夏祭りの気分が最高潮に達しました。

あなたも、参加してみましょう！



▲ 当センターの団扇を手にした保坂区長

# 安全委員会のお知らせ

安全委員会委員長 菅野 和昌

毎年、7～9月は当センターの「安全就業強化月間」です。本年も安全委員・理事を中心に、39の就業場所を訪問し、会員の皆さんの安全面での取り組みをお尋ねし、熱中症予防や事故防止等呼びかけました。ご協力いただきました皆様に、感謝します。

平成24年度 傷害事故発生状況						
	発生日時	性別	年齢	事故区分(職種)	発生場所	事故発生状況
1	H24.5.3 7:30	男	70	就業途上 マンション清掃	鎌田2丁目 道路上	就業途上、自転車で歩道から車道に出た際、前から来た自転車と衝突しそうになり避けようとした。傘さし運転のため、ハンドル操作を誤り、路上の鉄柱に右足首を強打し、3日後にはれ上がり入院。
2	H24.5.31 14:00	男	77	就業中 公園清掃	粕谷1 公園内	トイレ清掃を終えて、自転車で公園センターに鍵を返す途中、子供を乗せた自転車に追突され転倒し、地面に頭をぶつけた。記憶障害を感じ、公園センターから通院を指示され、そのまま入院。
3	H24.6.22 16:45	男	70	就業中 自転車等 駐車場管理	上野毛1 自転車等 駐車場	駐輪場内で就業中に、2階の巡回を終え1階詰所に戻ろうと、急ぎ足で右に曲った際に右足を滑らせ転倒し、右足首を捻って骨折。
4	H24.7.1 8:50	男	65	就業中 植木剪定	経堂4 訪問宅内	植木剪定で、塀に伸びている「つるバラ」を三脚に昇って作業中に、身体のバランスを崩し、三脚の2段目から左足がずり落ち、アスファルト地面にかかとを強打し骨折。
5	H24.8.16 10:40	男	70	就業中 自転車等 駐車場管理	松原2 道路上	詰所から離れた別の駐車場の巡回を終え、詰所に自転車で帰る途中、前方に駐車していた車の運転席ドアが急に開き、右ハンドルが衝突し転倒した。右前腕部挫傷・右手第三指部を打撲。

## ●就業中の事故が増加。ご注意ください！

今年度は8月末で5件の傷害事故が発生しました(上表)。転倒、骨折の事故でしばらく仕事に復帰できなくなるケースが多く発生しています。

今年の安全委員会の重点項目は、①自己管理の徹底 ②自転車事故の撲滅 ③危険予知活動の実施です。何よりも、日頃の自己管理が大事です。

十分な睡眠と健康管理、交通ルールを守った自転車運転と安全確認、作業手順の確認と仕事の慣れによる油断やムリはないか、確認しましょう。

## ●都主催の「シルバー安全大会」に参加

7月13日、東京都シルバー人材センター連合主催の

安全大会に委員が参加しました。その報告をします。

23年度の都内の傷害事故は、前年比で6.5%増えましたが、就業途上事故は5.2%の減少でした。

当区の発生頻度、重篤事故率はそれぞれ6番目、5番目と都内58センターでは低めですが、3年前は8件、2年前8件、昨年度13件と増えています。

事例発表では、調布市の「職群班ごとの自主的安全活動と安全懇談会での原因究明」等、瑞穂町の「『安全を語ろう会』の毎月開催」が報告され、参加者は改めて「安全就業の実践」を誓いました。

都内の今年の安全標語は、次のとおり

**「口ほどに 達者でないよ 足と腰」**

## 安全標語募集のお知らせ

安全委員会では、平成25年度の安全標語(来年度の安全就業対策で周知)の募集を行います。募集するテーマは、①健康管理について ②自転車事故防止について ③その他安全就業について 標語募集は別紙の要領により実施します。多くの会員の皆様の応募をお待ちしています。

### 花火大会会場の美化に汗を流した ボランティアグループ“青年隊”

第34回世田谷区「たまがわ花火大会」“希望”ーみんなで支え合い 輝く未来へー をテーマに多摩川河川敷で8月18日、希望の花火が夜空を彩りました。

翌日、多摩川の環境浄化活動の一環として行われる“多摩川クリーン作戦”。「水辺」の環境を守るため、河川敷周辺の一斉清掃ボランティアに当シルバー会員も積極的に参加。事務局長はじめ総勢21名が炎天下のなか、ごみ袋に入りきれないほど拾い集めたごみ、滴る汗に達成感を味わい、終了。

今回初参加の用賀組組長の齋藤 實さんは、「班長会議に諮ったところ、地理的にも近く快く賛同してもらえ6名で地域ボランティア活動の一環として参加しました。用賀組としてはこれを機にこの種の活動に積極参加したい」とのこと。





## 「地域活動連絡会議」にご出席を！

桜丘組 池田 八郎

3月の組長連絡会議で、今年から地域活動連絡会議は年に1回以上、加えてボランティア活動などの公益事業を実施してほしいとの説明を受けました。

地域活動連絡会議の開催に当たって、組長や班長がどんな取り組みをしているかをご紹介します。

一人でも多くの会員さんが参加したくなる会にするために、班長会で、会議の方式、実施場所、会費、開催時間などのアウトラインを決めます。講演のテーマもいろいろ検討して決め、講師をお願い出来るような公共機関と打ち合せ、実施場所は「けやきネット」で探して予約をします。

講演依頼をした公共機関と再度打ち合せをし、各会員への案内状印刷・送付の手配をセンターにお願いします。駐車場の確保や飲み物、必要な器具などの手配も忘れずに行います。

2～3時間の行事ですが、班長共々、会員に喜んでいただける会を目指しています。ぜひご参加を！

## 陸上競技の審判員になりました

祖師谷組 渡辺 典博

定年退職後、友人から「暇なら陸上競技の審判員をやらないか」と誘われ、(社)東京陸上競技協会の研修を受け審判員になりました。毎年4月～10月までは陸上競技の審判、11月から翌3月まではマラソン、駅伝、ロードレースの審判をやっています。

今年の2月26日(日)の東京マラソンでは、審判員として銀座3丁目デパート前で選手の監察を行いました。午前9時、都庁前をスタートし、日比谷—品川—銀座—浅草—銀座—台場のコースで行われました。招待選手の中で日本人1位になった藤原選手は、オリンピック男子マラソンに出場が決定しました。

首都東京を走るマラソンは非常に人気があり、各地から30万人の応募があります。3万5千人がいきき走る有様は大変な迫力がありました。

陸上の審判員は年齢に関係がないので、健康である限り、ずっと続けて行きたいと思っています。

## 戦争時の記憶を伝える責任あり

上町組 平塚 郁太郎

戦後67年を過ぎ、戦争を知る世代が年々少なくなってきました。父の仕事関係で、私は昭和18年春(当時4才)、旧満州国奉天市(現中国東北部瀋陽市)へ行きましたが、昭和20年8月9日にソ連軍が日ソ中立条約(不可侵条約)を破り、旧満州国(樺太も含む)へ147万を超える兵が侵攻して来ました。

この日を境に恐怖と混乱の一年が始まり、街では連日、日本人を対象にした無差別の公開裁判が行われ、父の会社からは家族全員に“薬”が配布されました。

「俺がいいと言うまでは絶対に飲むな。」と恐い顔で言った父。あの薬は自決用のものだったに違いありません。その後の引き揚げは困難を極め、筆舌に尽くしがたい苦勞を味わいました。

家族全員が無事、祖国の博多港に辿り着いたのは、昭和21年8月頃と記憶しています。

あのような悲惨な戦争は2度とあってはならないことで、私の世代は、これらの事実を戦争を知らない世代に伝えていく責任があると思います。



▲ 拘留されたことへの慰労品の銀杯と賞状

## ★あなたも手助けを頼みませんか★

年末の大掃除(換気扇掃除・窓ガラス拭き等)や家具の移動等で、誰かの手を借りたいと思うことがありませんか。着物の着付けをしてくれる人がほしい等のご希望にも、センターの会員が対応できます。プライバシーは守られます。

お気軽に、センターの事務局へご相談ください。

★主婦経験等を活かして、家事のお手伝いをしたいという方も、ぜひご一報ください。

手を貸します!



## 会費納入のお願い

平成23年度及び24年度の会費（年額1,000円）が未納の方は、早急に宮坂本部または烏山支部にお納めください。

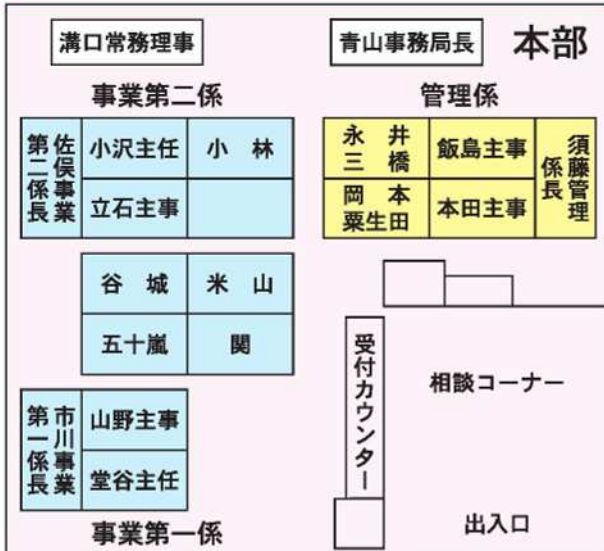
**事務局  
だより**

### ●配分金振込日予定●

9月分 10月15日(月) 10月分 11月13日(火)  
11月分 12月13日(木) 12月分 1月18日(金)

配分金振込みは支払日に指定口座へ入金されますが、給与振込みと違い、全ての口座へ午前中に入金されるわけではありません。ご了承ください。

## 各担当係長の異動がありました。



### ●事業第一係

自転車等駐車場管理、駅前放置自転車等整理、公共施設の管理清掃、除草、内職、美術館管理等、家事援助サービス等

### ●事業第二係

ポスター掲示、鍼灸マッサージ、公園清掃、家具転倒防止、屋内外軽作業、事務、筆耕、植木剪定、襖障子張り、大工塗装、学習教室、カルチャー教室、刃物砥ぎ

### 烏山支部

砵・烏山地域の公園清掃、公共施設管理、民間事業の事務、清掃、軽作業、東急百貨店、陶芸教室、パソコン教室

### ●管理係

総会、理事会、諸会議、会員の入退会、研修予算決算・会計、地域組織、広報

## 支部

湯野川	大田
松原	安達
齋藤	
加藤室長	

## いきいき・せたがや文化祭 展示作品募集

○とき **11月1日(木)～2日(金)**

○ところ 世田谷区民会館

☆作品部門の募集要領

### ○作品の種類

絵画・彫刻・書道・写真・造花・手芸・人形・細工物・盆栽など

### ○応募方法

出品希望者は氏名・住所・電話および作品の種類・数量を**10月19日(金)**までに宮坂本部にご連絡ください。そのさいに作品の搬入日をお知らせします。会場に直接搬入はできません。

出展された方には粗品を差し上げます。

(事務局担当 飯島)

## 就業についてのご相談は

理事による「さわやか相談窓口」は、毎月第2月曜日です（10～12月は下記日時）

相談時間：午前10：00～ 午後 13：00～

場所：宮坂本部

10月9日(火) 11月12日(月) 12月10日(月)

## 編集後記

海外に出かけ、どこでも無料でおいしい水が飲め、ホテルならクーラー付き寝室や快適なトイレが完備しているのが当たり前という、日本の素晴らしさを再確認しました。

戦いの弾痕の跡が残る住居を見て、今も戦下に生きる多くの人々がいるという実感とともに、平和の訪れを祈らずにはいられませんでした。

## 事業実施状況（平成24年7月末現在）

- 会員数 2,942人  
(男2,108、女834)
- 受託件数 7,350件
- 契約額 4億548万円  
(受託件数・契約額は4～7月の計)
- 前年4～7月比で契約金額は105万円の減、配分金額は19万円の減です。



### ◆シルバーボウリング同好会

オークラボウルで、毎月第3金PM4：30～活動。

★連絡先 鈴木 尊康 ☎090-2175-4615

### ◆囲碁同好会

8月に結成。囲碁の好きな方、実力無関係です。

★連絡先 田村 進 ☎090-7856-3519

### ◆植物研究同好会

8月に結成。草花・低木の手入れ管理、実習など。

★連絡先 前澤 一福 ☎090-7417-7420

**会員募集**

### ◆ゴルフ同好会 けやき会

年4回「富士笠間ゴルフ倶楽部」コンペを開催。

★連絡先 田村 進 ☎090-7856-3519

### ◆カラオケ同好会

★連絡先 (烏山)・林(3300-1776) (松陰神社)・山下(3303-8971) (船橋)・佐藤(3483-0203)まで

### ◆ボランティアグループ「青年隊」

「世田谷花火大会」、大東京マラソンに参加。

★連絡先 清水富久夫 ☎3429-9439